

Rotary

イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 加藤 勝郎 幹 事 塚越 淳史 会報・雑誌委員長 関 元明

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2974号 2022年10月25日(曇り) 第16回例会 会員数112名

夜間例会

点 鐘 加藤 勝朗 会長
司 会 副SAA菊池(信) 会員

◇ロータリーソング「それでこそロータリー」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇本日のディナー 前菜 ビーフシチュー 餃子
鶏肉と白美人ピーマンカシューナッツ炒め
デザート 食事 香の物 汁

ビジター紹介 細谷副会長

◇卓話講師 宇都宮東ローターアクトクラブ
会長 テット チャンソティア様(米山学友)
直前会長 盛合 一功様

会長挨拶 加藤 勝朗 会長

皆さん、こんばんは。今日は、ロータリーの奉仕活動についてお話したいと思います。ロータリーには大きく分類すると三つの奉仕活動があります。一つは色々な団体や事業に対する寄付行為です。多くのチャリティー団体が行っていることと同様です。もう一つは清掃活動や各種施設などでのイベント活動です。多くのボランティア団体の活動と同様です。そして最後に多くの団体や人々を巻き込んでのロータリーならではの奉仕プロジェクトの実施です。ポリオプラスや、今年山田有紗さんをスウェーデンに派遣していること、3年前に台湾鳳山西区ロータリークラブと合同で疾病対策事業に参加したことがそれにあたります。そして、宇都宮東ローターアクトクラブが空き家プロジェクトを企画運営していることは、まさにロータリーでしかできない、多くの人々を巻き込んだ色々な奉仕活動を総合した事業です。誇りに思うこの活動のお話を聞けるのを楽しみにしています。



幹事報告

塚越 淳史 幹事

- ◇クラブ年次総会の「選挙」に関するお知らせ
2022~23年度のクラブ年次総会をクラブ細則第5条第1節の年次総会の規定により12月6日に開催します。クラブ年次総会におきましては、クラブ細則の第3条第1節の規定により、役員である会長(次々年度)、副会長、幹事、会計、SAAおよび8名の理事ならびに2名の会計監査の選挙を行います。また、クラブ細則第5条第1節(b)による今年度前期の一般会計の収入と支出の中間報告の発表があります。
- ◇11月1日は仲田俊夫ガバナー補佐訪問の例会。
例会終了後のクラブ協議会での事業計画の発表は、理事役員の委員長とローターアクト委員長のみとなります。入会3年未満の会員の方は出来るだけご出席ください。



委員会報告

- ◇スマイルボックス委員会 SAA代読
小林正明会員
先週末はイトコに行ってイトコがたくさんあったのでスマイルします。
- ◇親睦委員会 山崎委員長
FAXでご案内しましたが、2022-23年度地区大会記念ゴルフ大会が12月9日(金)に開催されます。皆様のご参加をお待ちしています。



「3分間スピーチ」

金子 剛会員
皆さん、こんばんは。似た名前^{つよし}の先輩で金田剛^{つよし}会員がいますが、私は、金子剛^{ただし}になり

ます。ロータリーの入会は2016年8月23日で、入会7年目を迎えます。職業分類は不動産業です。ロータリー歴の内、約3年間はコロナ禍ですので、本来のロータリー精神を十分に理解してはおりませんが、自分なりに感じていることをお話したいと思います。

私は、2016年1月に、約25年間勤務していた前職のハウスメーカーを退職し、現会社を創業しました。栃木県内、横浜、東京等を転勤後、宇都宮市には約6年勤務していたこともあり、この地で開業することを選びました。出身はお隣の群馬県ですが、人生の半分以上を栃木県内で生活をしてきました。推薦者は清水会員、炭田会員です。以前、妻が花屋を経営していることもあり、サラリーマン時代からご縁があった清水会員の紹介で入会させていただきました。入会当初の印象は、奉仕の理想、それでこそロータリー、我等の生業等を唱和しますが、何か怪しい宗教団体に入会してしまったのかと思ったことを記憶しています。

ロータリーは異業種専門家が集い、それぞれの仕事を通じて“奉仕”しようという集まりです。私は、学生時代・社会人の時には、奉仕活動等とは全く無縁で、人のためというよりは“自分のために”という基準で行動しておりましたので、ロータリーとは対極の立場でございました。

宇都宮東クラブには、いろいろな趣味の会があります。趣味の会はロータリー活動の大切な一つである“親睦を深める”ことに繋がっています。野球、ゴルフを通じて自クラブの会員や他クラブのロータリアンとも自然と関係も深くなってきます。年齢を重ねてくると、新しく友人を作ることに消極的になり、苦勞します。今、現在はロータリークラブに入会して異業種の方々と知り合える機会を得て良かったと思っております。

最後に、私のようにロータリー歴も浅く、ロータリー活動もわからないという方に、非常にわかりやすく書かれている本があります。高崎のバスターである田中久夫氏著書の“ロータリークラブに入ろう！”です。ロータリークラブに興味のある人に読んでほしい一冊ですので、機会がありましたら、是非、一読してみてください。

※次回3分間スピーチは山崎盛美会員



卓 話

「ローターアクトの活動報告について」



宇都宮東RAC直前会長
盛合一功様

皆さん、こんばんは。私は、宇都宮大学の修士2年生で建築を専攻しております。地元は岩手県の宮古市で、東日本

大震災をきっかけに、ロータリークラブさんにご縁がありまして、ローターアクトに入り、活動をしています。本日は、私達は去年から今年にかけて、今までやったことのない活動、タキヤプロジェクトという空き家のイノベーションの活動に挑戦してきましたので、お話をさせていただきたいと思っております。

- パワーポイントにて説明 -

なぜタキヤプロジェクトかと言うと、もともとそこは、「たきや」という酒屋さんだったからです。その店舗をお借りし、改修して、地域のコミュニケーションスペースにしようという取組みになっています。

タキヤプロジェクトには、大きく3つの団体が関わっています。1つ目は、「宇都宮東ローターアクトクラブ」、もう一つは、宇都宮大学の建築学生の団体「torinosu」、そして、市役所を中心とした官民が連携して空き家問題を解決しようという団体「宇都宮空き家会議」です。私は立ち上げメンバーなのですが、まず、組織づくりからはじめました。空き家を改修すれば人が集まって来るだろうと思って活動をはじめたのですが、実際はそうではありませんでした。建物を作るだけでなく、仕組み作りや、人を呼ぶためのイベントなど、ソフトとハードを同時に改修していく団体になっています。

こちらの表は、主催団体、協力団体、関係団体が書かれています。峰地域で活動していますので、峰地区のまちづくり推進協議会や峰地区おやじの会等、身近な地域の住人と共に、改修活動やまちづくりを行っています。私が考えたのは、こういった方向でこのプロジェクトを進めていくか、ということで、大きく3つあると考えています。

1. 課題を解決していく。-1を0にする団体。
2. 0を1にする。新しい価値や今までになかった温もりのある空間を作る。
3. 1を10にしていく。カフェを運営してビジネスにしていく、マネタイズしていく仕組み作り。

いろいろな考え方がある中で、私は2の、0を1にする考え方がこの場所には必要なのではないかと考えました。私の地元には盆踊りがあったのですが、コロナ禍もあります、この地域では行われていなかったり、地域の人達の顔も知らないような状況があります。今、失われている繋がりが、この活動を通じて生むことが出来ないかと思いました。そして、より持続的にやっていくためにはどうしたらよいか考えました。会社経営では、ミッションとビジョンがあると思いますが、私達のミッションは「わくわく、ぬくもり」で、ビジョンは、「想像を創造します」「様々なつながりを構築します」「みんなの居場所になります」

です。この3つのビジョンを決めることによって、私が離れることになっても、後輩が持続的に活動していけるのではないかと考えています。

具体的にどのような活動をしているかをお話したいと思います。週に一回のミーティング、アイデア会議をしています。定期的にイベントを開催・企画、自己啓発のために講師を招いての講話、様々な繋がり構築、皆の居場所の仕組み作りを行います。学生がまちづくりを行うのではなく、地域の人達と一緒に作っていくことが、地域貢献、まちづくりの根本にあると考えています。昨年10月31日に、ハロウィンウォークラリーを行いました。宇都宮大学の学生が30人位、子どもたちは100名位で、公民館や自治会長の家、子ども110番の家も巡りました。今年も開催を予定していますが、嬉しいことに、大手のチェーン店からも協賛のお声かけをいただきました。この活動は是非成功させたいと皆で頑張っています。他には、新入生歓迎会ということで、内装の仕上げ、改修工事を新入生と一緒に行いました。内装は漆喰で仕上げましたが、(株)英和技研の薄井ローターアクト委員長ご指導のもと、進めることが出来ました。

改修をおこなって行くうえで、一つの課題がありました。物の処分、特に家電リサイクル法にひっかかる冷蔵庫などの処分に困りましたが、塗装して、ブックポストとしました。大学に置かしていただき、先輩の本を新入生に引き継ぐなど、本のリサイクルの起点となっています。この活動は広げていきたいと考えています。

最後に、今年度の私達の目標を宣言させていただきます。目標は「持続的な地域貢献の為に」です。そのために、3つのアクションを考えています。「団体組織の骨組み作り」「マネタイズできる仕組み作り」「定期的な地域との関わり作り」です。これからも地域のメンバーと一緒に、全力で取組んで参りますので、温かく見守っていただければと思います。



宇都宮東RAC会長
テット チャンソティア様

皆さん、こんばんは。私からは、カンボジアの子どもたちへの文房具等の学習支援の活動についてご報告いたします。はじめのうちは、文房具だけを送っていたのですが、クラブの皆様から、カンボジアの子どもたちに何かあれば良いのではないかと、というご意見をいただきました。大学3年か4年の頃、カンボジアの子ども達と運動会や写生大会をしていた経験がありましたので、ローターアクトの支援活動の中で、文房具を送り、それを使って写生大会を行うことに致しました。今年8月に1週間程カンボジアに行って、そのうち1日、現地のNGO団体の方と一緒に子どもたちと写生大会を行いました。

- 写真を見ながら説明 -

- ・日本で文房具を購入し、カンボジアに送り、それが届いてから写生大会を行う。
 - ・クラブからの義援金なども使って品物を購入。
 - ・現地のNGO団体の人が、英語や日本語、パソコンも教えている。
 - ・NGO長が子どもたちに写生大会の実施について説明。
 - ・NGO長が作品を審査して、選ばれた子どもたち10名に賞品を渡す。参加した子どもたち全員に参加賞を渡す。
 - ・審査の際の動画
 - ・子どもたちが帰宅する姿の動画
- カンボジアの支援活動についてはコロナ禍でなかなか思うように活動が出来なかったのが残念でした。

乾 杯 羽石パストガバナー